

羽ばたけ! こどもたち

大堀 寛人

⑩

泊まりに出掛けます。

お泊まり初日の夕食後、JR可部線沿いでキキヨウ

科の白い花「ホタルブクロ」を摘みます。ホタルの「虫かご」にするためです。三谷川沿い近くに差しかけると、あちらこちらからゲンジボタルの光がこどもたちをお出迎え。「わあ、きれい!」と歓声が上がります。

ずはあーまいぞー!」。ホタルを呼ぶ声にも熱が入ります。

「ぼくの肩に止まったよ」。そっとホタルを捕ってホタルブクロの中に入れてみます。花の中からホタルの光が透けて見え、「ホタルちょうちん」の美しさに、こどもたちは目を丸くします。

淡い光に、「バイバーイ」と名残惜しそうに手を振り続けます。

私たち人間は、もともと感動する心を備えて生まれてきます。しかし、こどもは自然の不思議さや美しさ、はかなさに心を揺り動かされる体験を重ねないと、「感動する心」が育たないまま成長してしまします。周囲に無表情で無感情のこどもが多くなった気がしませんか…。

「お土産にしようよ」。こどもたちはホタルを持って帰る気ですが、地元の人々が大切に守っているホタルを持ち帰るわけにはいきません。そこで、先生がホタルの生態について話します。ホタルはたったの一週間しか生きられないこ

人生の喜びも幸せも、心で感じてこそ味わえるのです。どんなに素晴らしいことに出会っても、心が動かなければ幸せを実感することはできないでしょう。「感動」を繰り返して体験していくことが、こ

「ぶれいすくーる・ちゅーりっぷ」の大切な行事の一つに「ホタル狩り」があります。こどもたちに幻想的なホタルの群れを見せて、何かを感じ取ってもらおうという企画。毎年六月に年中と年長のクラス(四一六歳児)は、

感動いっぱいホタル狩り

幻想の世界 心はぐくむ

と、卵は千個ぐらい産むけれど、二、三匹しか成虫にならないこと…。

こどもたちは先生の話に納得し、ホタルを夜空に放ちます。次々と舞い上がる

どもたちの将来の人生を豊かで幸せなものにしていくのでしよう。

(ぶれいすくーる・ちゅーりっぷ) 広島市西区 園長)



先生がホタルをホタルブクロの花に入れ、「ホタルちょうちん」に。「きれーい」。美しさに目を丸くするこどもたち(園提供)